

アナログ時計アプリの起動方法と操作方法

4 年 電子情報工学科 川原隼平

1 起動方法

1 章ではアナログ時計アプリの起動方法を説明する。以下に起動方法を示す。ただし Makefile と同じフォルダに j18411s.exe というファイルがある場合は、基本的に手順 3 のみを行えばよい。

1. コマンドライン上で Makefile と同じフォルダに移動する。
2. コマンドライン上で make と入力する。これを行うことでソースファイルがビルドされ、Makefile と同じフォルダに j18411s.exe というファイルが生成される。
3. コマンドライン上で ./j18411s.exe と入力する。これを行うことでアナログ時計アプリが起動する。

2 操作方法

2 章ではアナログ時計アプリの操作方法を説明する。1 章にしたがって起動した際に表示される画面を図 1 に示す。また、操作方法を説明するために図 1 に囲みをつけたものを図 2 に示す

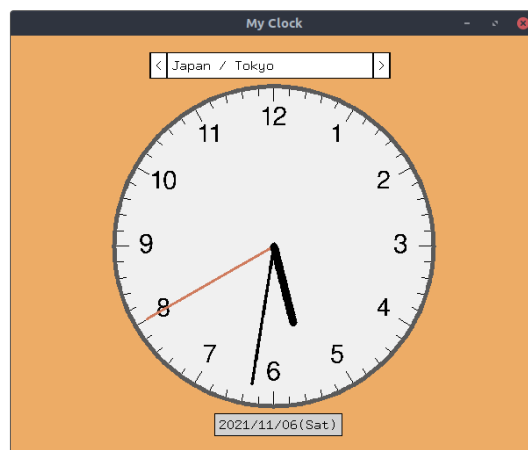


図 1 起動後の画面

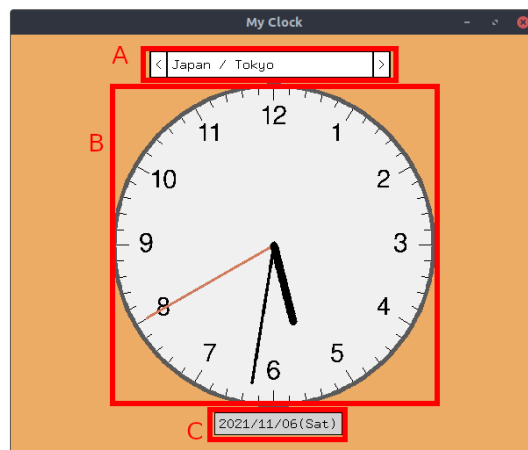


図 2 操作方法を説明するために囲みをつけたもの

図 2 のように、画面起動時は囲み B に時計、囲み C に年月日と曜日が表示される。画面起動時に表示されている日時は東京の日時である。また、背景色は午前だと水色、午後だとオレンジ色になる。図 1 や図 1 は午後に写真を撮影したため背景色がオレンジ色になっている。

囲み A はどの都市の日時を表示するかを変更するためのボタンである。囲み A の中央のテキストボックスでは、現在どの都市の日時を表示しているかを表している。どの都市の日時を表示するかは囲み A の左右のボタンを操作することで変更できる。以下に示す都市に対応している。ただしサマータイムは対応していない。

- 北京（中国）
- カイロ（エジプト）
- デリー（インド）
- ホノルル（アメリカ）
- ロンドン（イギリス）
- ニューヨーク（アメリカ）
- パリ（フランス）
- サンフランシスコ（アメリカ）
- 東京（日本）